

涌井金太郎商店

名物「笹団子」のこだわりは、ヨモギの他に県央地域ならではの「ごんぼろ葉」が生地に入ること。ヨモギと一緒混ぜると、柔らかいのにコシがある食感に仕上がると、色鮮やかで、笹の香りで煮るのが金太郎流。県外へのお土産にいかがですか？



笹だんご 180円

加茂のおすすめスポット

新町通りの商店街の木製アーケードが最高です！

創業 明治29年
住 新町2-3-10

☎ 0256-52-0237

営 8時~17時30分

休 毎月6・16・26日

菓房処 京家

和・洋菓子やジェラード、贈り物まで何でも揃っていて、どんな年代の方にも人気のお菓子店。今のおススメは、あんバター最中「あんもな」と。アンモナイトの化石をイメージした皮、あんの甘さと塩味のフランスが絶妙で、クセになる美味しさ。フランス・ブルターニュ産の発酵バターに加える笹川流れの塩がアクセントになっています。



あんバターもなか「あんもないと」220円

加茂のおすすめスポット

パラダイスカフェさんのランチがおすすめ。加茂産の食材を使っていることもグッドです！

創業 昭和48年
住 加茂市駅前1-6

☎ 0256-52-6080

営 8時30分~18時

休 年中無休（1月1日は休業）

うのもりや

加茂のシンボルは？と聞かれたら、やっぱり『加茂山』ですよ。その名のお菓子を作るのは、江戸時代から続く老舗「うのもりや」。加茂山が描かれた上品な包み紙を開くと、一口大の最中が二つ現れます。黒餡と栗入り白餡、どちらから食べるか迷ってしまいます。店内は和洋菓子の他に、輸入食品やワインも並びますので、ぜひ、のぞいてみてください。



登録銘菓「加茂山」216円
(要予約)

加茂のおすすめスポット

かわず鳴き暮れなずむ頃
螢飛びかう、皆川の山の辺

創業 江戸時代後期
住 仲町2-2

☎ 0256-52-0062

営 9時30分~18時30分

休 水曜日・不定休

西山もちや

青海神社の裏参道脇にある餅菓子屋。加茂山公園への行き帰りに立ち寄る方が多く、午後には売り切れてしまうことも。

ガラスケースにはお団子（あん・しよゆゆ・ごま）、豆大福、大福等、和菓子好きにはたまらないラインナップが並びます。4月から6月までの期間限定で販売される草大福は、下田産のよもぎと粒あんの相性が抜群ですよ！



草大福 100円

加茂のおすすめスポット

加茂山公園の上り口にある貴船神社におみくじがあっていい感じですよ。

創業 明治あたり
住 松坂町2-11

☎ 0256-52-2350

営 8時~17時

休 毎週月曜日

ヤマトヤ西加茂店

地元愛が深く「ふるりの味」にこだわると、オリジナル和菓子とケーキを中心に、季節限定商品やギフト雑貨まで幅広く取り揃えています。

この季節は、見た目も涼しげな「麩まんじゅう」はいかがですか？みずみずしく、つるんとした生麩に上品な甘さの餡。冷たくしてお召し上がりください。



麩まんじゅう 170円

加茂のおすすめスポット

美人の湯から見える、粟ヶ岳の絶景&サウナ！！

創業 大正8年
住 旭町2-34

☎ 0256-52-2635

営 8時30分~20時

休 無休

田辺菓子舗

加茂土産の定番と言えば「たなべのかりん糖」は外せません。職人技が生み出す、濃厚でやさしい黒蜜の甘さと独特の食感ほかりんとうの最高峰。食べ応えがありエネルギーチャージにもおすすめです。贈り物やお土産用に箱入りも登場しました。小京都をイメージしたパッケージには、加茂にちなんだ可愛いイラストが描かれています。

たなべのかりん糖 648円
箱入り/1300円



加茂のおすすめスポット

迫力のある加茂川の鯉のぼり！！

創業 昭和2年
住 若宮町1-5-1

☎ 0256-52-0615

営 9時~正午13時~15時30分

休 土曜日・日曜日・祝祭日